

御山掛けに元Jリーガーも参加！ 「太田神社例大祭」が行われました

6月27、28日の2日間、大成区太田地域において、太田神社例大祭が開催されました。例大祭初日は、大漁旗を掲げた漁船群による海上渡御や神事（奉奏松前神楽による神楽舞）が行われたほか、海の安全を祈願する御山掛けが行われました。御山掛けが行われた太田神社拜殿から本殿（総距離705m）までの道のりは、急こう配の石段と登山道のような険しい山道となっており、最後の7メートルある絶壁に垂れている鎖をよじ登っていくと本殿にたどり着きます。今年も、大成まちづくり会議のメンバーに加え、元Jリーガーの大森健作さん（現在はサッカーの解説者として活躍している）が、白装束に身を包み、御山掛けに挑戦しました。（写真右上）

また、特設ステージは大成まちづくり会議主催による、ゲーム大会、久遠神楽や北海久遠太鼓などの郷土芸能、歌謡ショーに花火大会と、たくさんのイベントで盛り上がりました。二日目は、太田神社拜殿において特別祈禱が行われ、2日間の例大祭が無事終了しました。



参加撤退を求め大勢が集結 「TPP断固反対町民決起集会」

7月1日（月）、ふれあいプラザにおいて、せたな町TPP反対実行委員会主催（町や議会、町内の各産業団体などで構成）によるTPP断固反対町民決起集会が開催されました。

集会当日は、町民や関係者ら約500人が参加し、実行委員長の高橋町長のあいさつに始まり、各産業団体の代表者がTPP交渉参加への反対意見表明を行いました。

集会の最後には、JA新はこだてせたな地区青年部長の馬場丈宜さんと、ひやま漁協青年部瀬棚支部長の加賀谷翔さんにより、政府に対してTPP交渉参加撤退を求める集会決議文が読まれ、全会一致で採択し、参加者全員でTPP交渉参加に「反対！」と拳を突き上げ、交渉参加撤退への強い意志を表しました。

自衛隊と4町による大規模災害時等の連携協定が結ばれました

6月24日（月）、八雲町役場において、長万部町・八雲町・今金町・せたな町の「北渡島・檜山北部4町」と「陸上自衛隊第11旅団第28普通科連隊（連隊長 佐藤和之）」との間で「大規模災害時等における連携に関する協定書調印式」が行われました。

これは、平成24年2月に自治体間で「災害時相互応援協定」を締結していることを知った第28普通科連隊からの申し入れを、「北渡島・檜山北部4町」が受けたことにより実現したもので、全国的にもあまり例のない防災協定となっています。

この協定書には、普段の関係強化や情報の共有化、災害が予想される場合の情報収集や応急対策活動開始までの時間短縮対策など、災害に強い町づくりにむけ、お互い協力することが記載されています。

当日は、「北渡島・檜山北部4町」の各町長と佐藤和之連隊長が協定書に調印し、協定書を交換しました。





若手農業者と女性の交流イベント「AGRI FESTA」が開催されました

7月6日(土) 浮島公園において、檜山北部アグリ・フェスタ実行委員会主催(JAきたひやま青年部、JA新はこだて若松基幹支店青年部などで構成)による檜山北部農業青年イベント「AGRI FESTA」が開催されました。このイベントは、せたな町農業の後継者不足に歯止めをかけるために、若手農業者と女性の交流を通じて、女性にもっと農業と檜山北部地域に関心をもってもらうことを目的として開催されたものです。

当日は、約350人の来場者で賑わい、羊の丸焼きや道産牛肉・豚肉、イカ・ホタテ、野菜などの檜山食材を満喫したり、縁日コーナーやカヌー体験、勾玉づくり、革細工体験、トラクター試乗など、さまざまなイベントを楽しんでいました。

なかには、受付で配られたカードに書かれた同じ番号の人同士で、一緒にバター作りをしたりするなど、AGRI FESTAならではの出会いを演出するイベントもありました。また、最後に行われたビンゴ大会は、ビンゴカードに自分の名前と知り合った8人の名前を記入して参加するといったもので、ビンゴカードを作っていく過程で男女の交流も深まり、グループでバーベキューを楽しむなど、参加者全員が盛り上がるイベントとなりました。



歌手の道高むつ子さんら7人が義援金を手に被災地で慰問公演

東日本大震災被災者復興支援「道高むつ子追分歌の旅仲間」(会長：広川弘)主催により、6月2日(日)、ふれあいプラザでチャリティーショーが開催され、町内外から約300人の来場者があり、その収益金42万円が先日義援金として被災地に届けられました。

道高むつ子さんら7人は、町の東日本大震災被災者支援訪問活動費助成金や北檜山ライオンズクラブなどからの協賛金の支援を受け、6月24日から28日までの日程で「第31代江差追分日本一道高むつ子心・絆・ふれあい公演」として福島県新地町・宮城県山元町・仙台市若林区・石巻市万石浦社会福祉協議会といった4カ所の被災地を訪問しました。

訪問先では皆さんからの義援金を贈呈し、公演会ではソーラン節や江差追分などの歌のプレゼントも届けられ、来場した延べ400人の皆さんから「歌を聴いて元気になった」といった声や涙を流して握手を求められるなど、たくさんの感謝の気持ちや言葉が寄せられました。(写真は福島県新地町での様子・義援金を同会場で加藤憲郎町長へ贈呈)